



ことひら温泉 御宿 敷島館



天然温泉 凌雲の湯 御宿 野乃浅草

2020年3月期 第1四半期連結業績の概要

2019年8月

代表取締役社長
上田 卓味

よい朝のために。

KYORITSU
HOTELS & DORMITORIES
9616

2020年3月期 第1四半期連結業績

Executive Summary

- 2019年4-6月の新規開業：
 - ✓ 寮事業 13棟（1,451室）
 - ✓ イン事業 2棟（382室）
 - ✓ リゾート事業 1棟（86室）
- 大幅な増収増益により、過去最高益を更新
- 寮事業：期初稼働率 98.7%（対前年同期 +1.0pp）
- 10連休となったゴールデンウィークのホテル事業の売上高は前年同期から27.5%アップ*

* 2018年4月以降に開業したホテル除きベース（2期を同一条件下で比較できるようにするため）

2020年3月期 第1四半期 連結業績

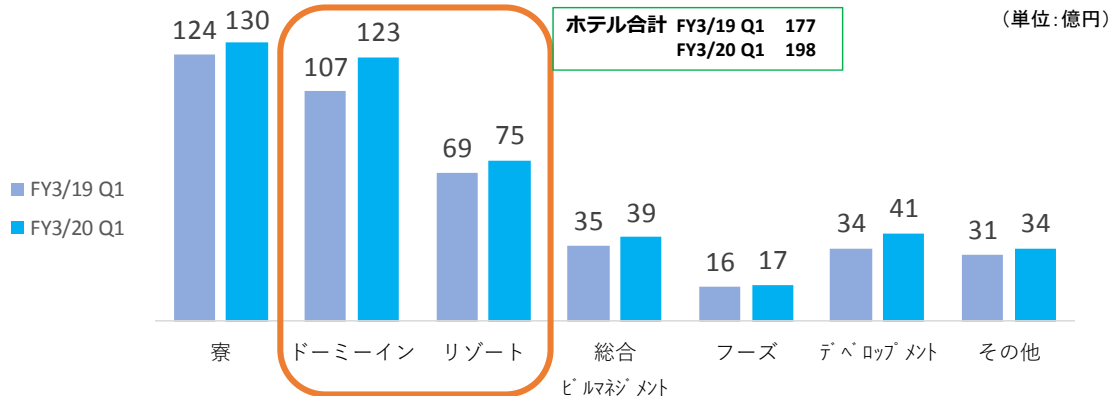
（単位：億円）

	FY3/19 Q1実績	FY3/20 Q1実績	対前年同期	
売上高	368.8	421.6	+52.8	+14.3%
営業利益	25.4	31.5	+6.0	+23.7%
経常利益	24.1	30.1	+5.9	+24.8%
当期純利益	15.7	20.7	+5.0	+32.1%
EPS（円）	40.3	53.2	+12.9	+32.1%
減価償却費	10.9	12.2	+1.2	+11.2%
キャッシュ・フロー	26.7	33.0	+6.2	+23.5%

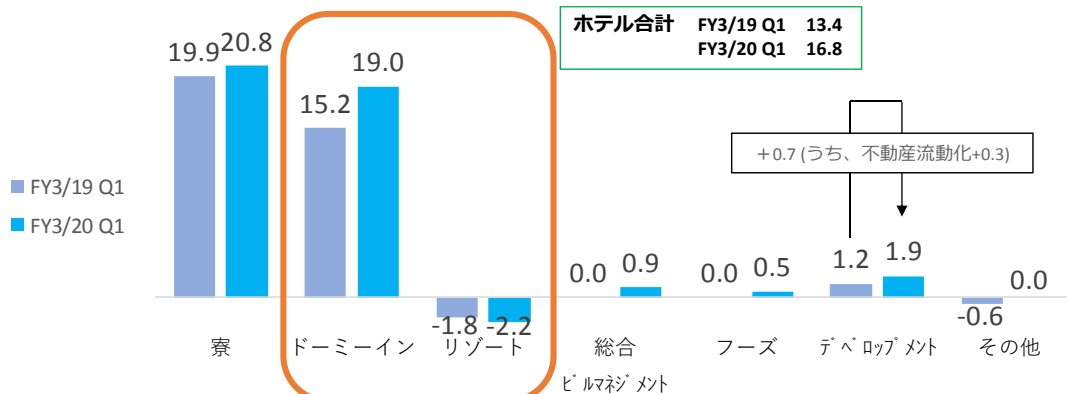
※キャッシュ・フロー：当期純利益＋減価償却費

2020年3月期 第1四半期 売上高・営業利益の事業セグメント別内訳

売上高



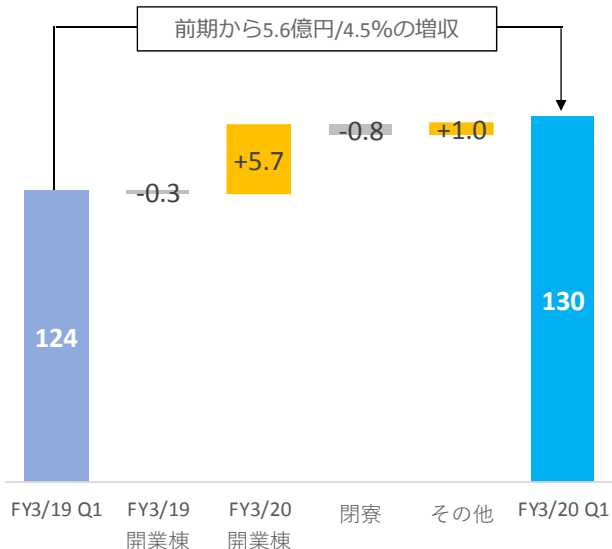
営業利益



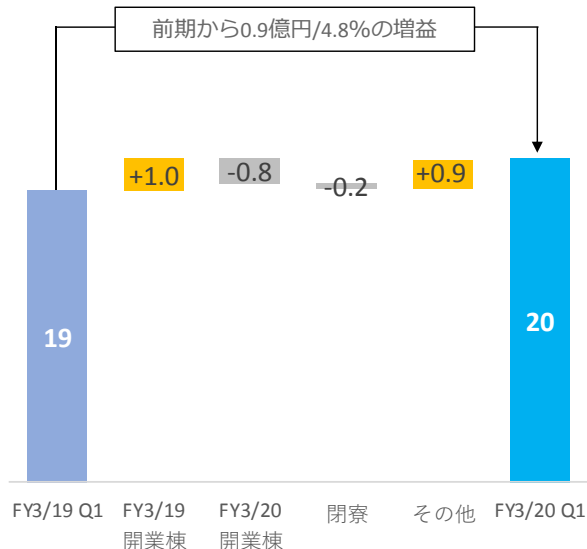
寮事業: 2020年3月期 第1四半期 売上高・営業利益

(単位: 億円)

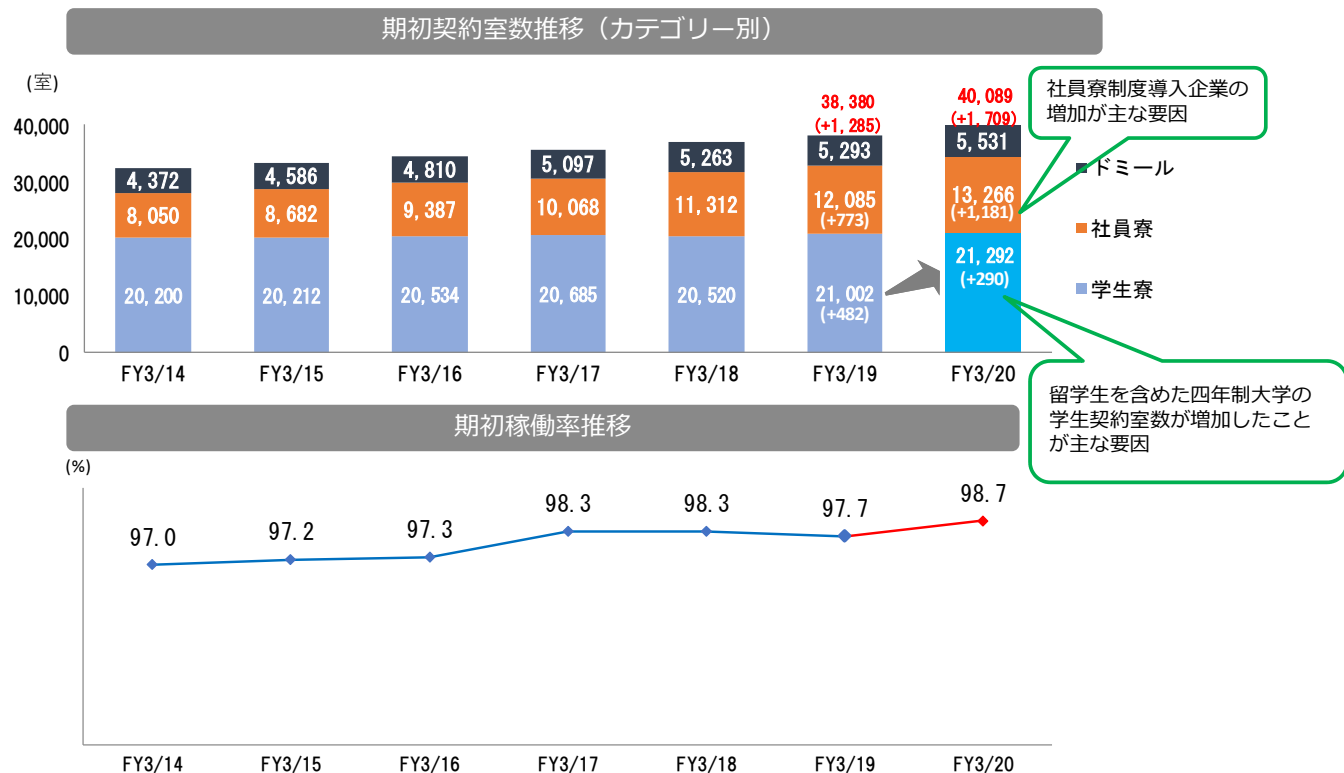
売上高



営業利益

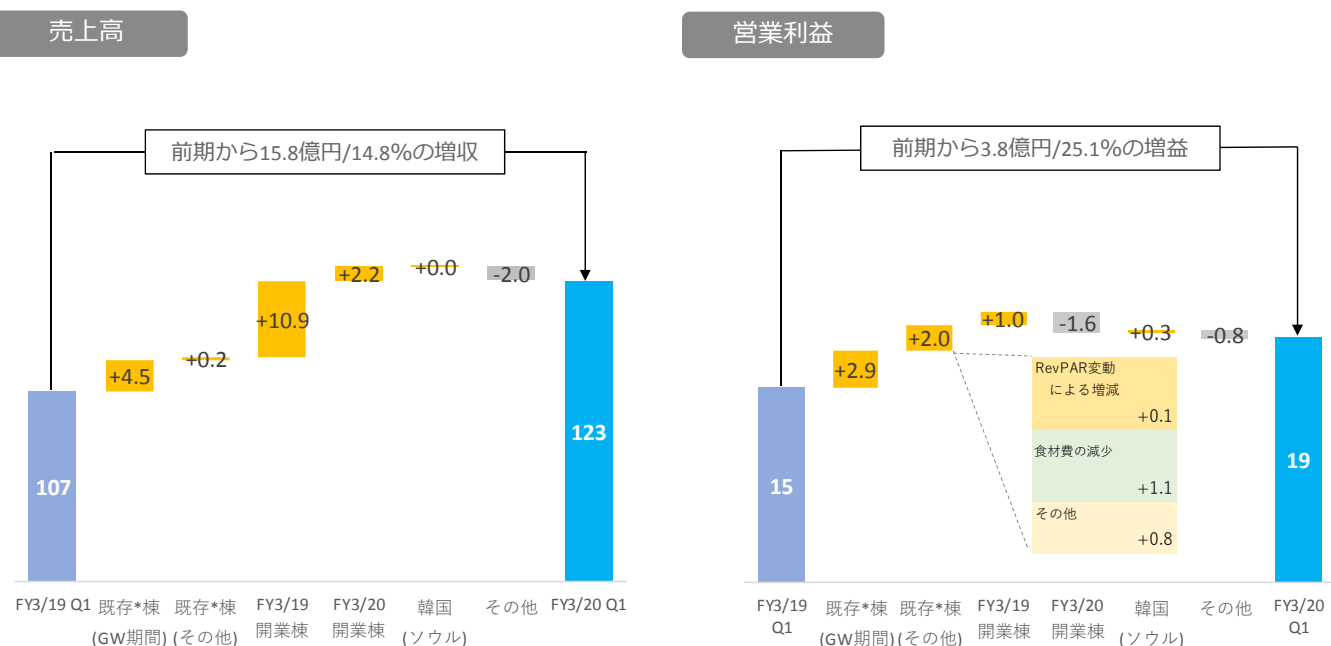


寮事業: 期初契約室数・稼働率推移



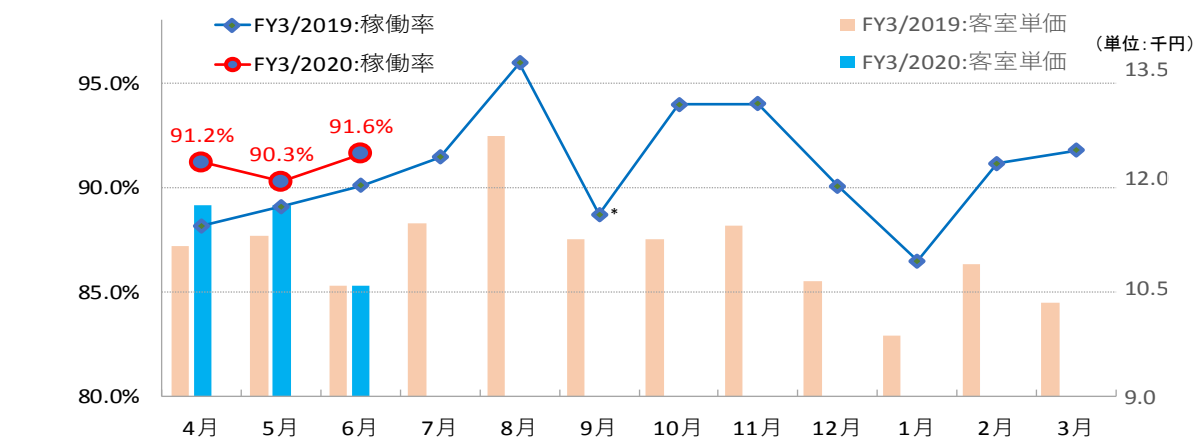
ドミーイン事業: 2020年3月期 第1四半期 売上高・営業利益

(単位: 億円)



ドミーイン事業: 稼働率・平均客室単価推移

稼働率/平均客室単価の月別推移



稼働率

	Q1	Q2	Q3	Q4	年間
FY3/19(実績)	89.1%	92.1%	92.7%	89.7%	90.9%
FY3/20(見通し)	90.8%	93.4%	92.8%	89.8%	91.6%
FY3/20(実績)	91.0%				
対前期	+1.9pp				
対見通し	+0.2pp				

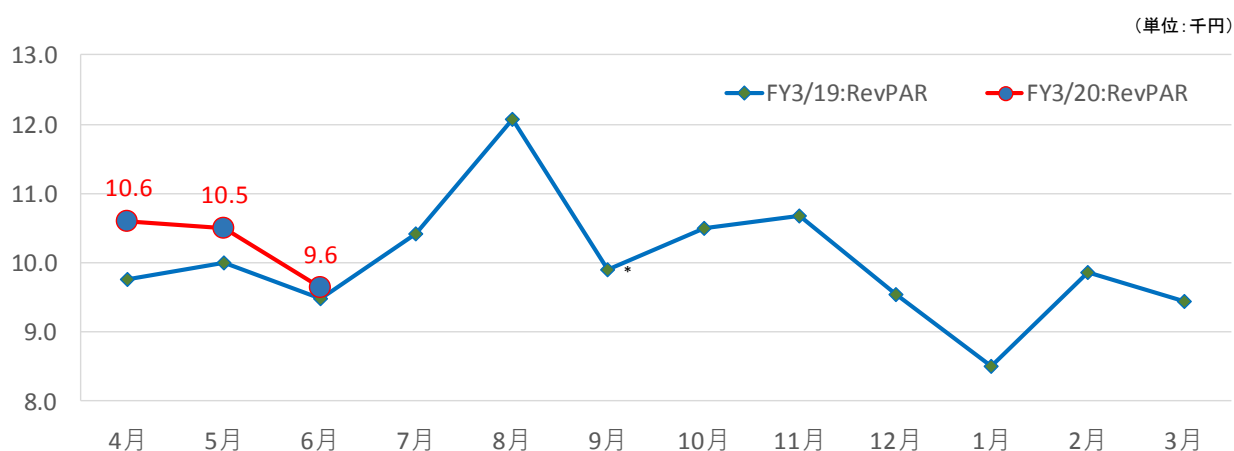
客室単価

	Q1	Q2	Q3	Q4	年間
FY3/19(実績)	10.9千円	11.7千円	11.0千円	10.3千円	11.0千円
FY3/20(見通し)	11.3千円	12.0千円	11.2千円	10.5千円	11.3千円
FY3/20(実績)	11.3千円				
対前期	+0.3千円				
対見通し	+0.0千円				

* 2018年9月の稼働率が前月から大きく落ち込んでいるのは、同月に北海道地震、台風21号等の自然災害が発生したことによる
(注) 上表は2018年4月以降に開業したホテル除きベースで表示している(上表に示した2期を同一条件下で比較できるようにするため)

ドミーイン事業: RevPAR推移

RevPARの月別推移



RevPAR

	Q1	Q2	Q3	Q4	年間
FY3/19(実績)	9.7千円	10.8千円	10.2千円	9.3千円	10.0千円
FY3/20(実績)	10.3千円				
対前期	+0.5千円				

	Q1	Q2	Q3	Q4	年間
FY3/20(見通し)	10.2千円	11.2千円	10.4千円	9.4千円	10.3千円
FY3/20(実績)	10.3千円				
対見通し	+0.1千円				

* 2018年9月のRevPARが前月から大きく落ち込んでいるのは、同月に北海道地震、台風21号等の自然災害が発生したことによる
(注) 上表は2018年4月以降に開業したホテル除きベースで表示している(上表に示した2期を同一条件下で比較できるようにするため)

ドーミーイン事業: インバウンド需要（対前年同期）

インバウンド宿泊者数

2019年3月期 第1四半期
(FY3/19 Q1)

41万人

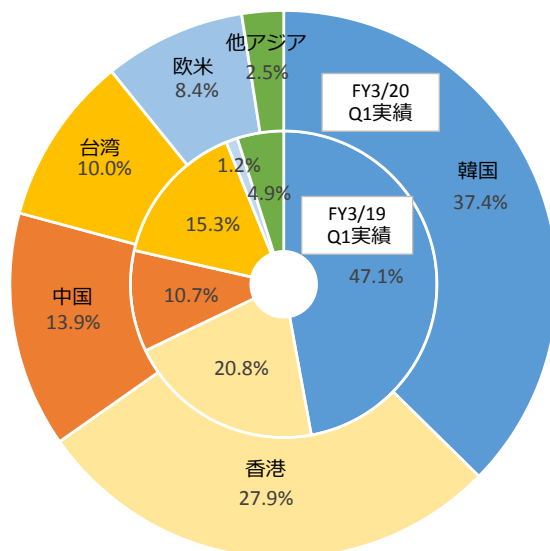


2020年3月期 第1四半期
(FY3/20 Q1)

51万人

インバウンド国別シェア (売上高ベース)

■ 韓国 ■ 香港 ■ 中国 ■ 台湾 ■ 欧米 ■ 他アジア

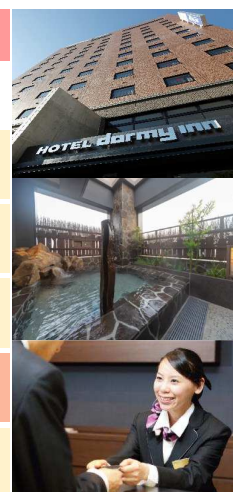


ドーミーイン事業：対外評価

2019年度JCSI(日本顧客満足度指数)において、ビジネスホテル部門で1位を受賞

顧客満足スコア ビジネスホテル部門

順位	2019年度	2018年度	2017年度
1	↑ ドーミーイン 81.7	⇒ リッチモンドホテル 81.8	⇒ リッチモンドホテル 81.2
2	↓ リッチモンドホテル 81.0	↑ ドーミーイン 80.0	↑ スーパーホテル 80.7
3	⇒ コンフォートホテル 79.1	↑ コンフォートホテル 79.0	↑ ダイワロイネットホテル 79.4
4	⇒ スーパーホテル 78.5	↓ スーパーホテル 78.3	↓ ドーミーイン 79.2
5	⇒ ダイワロイネットホテル 77.4	↓ ダイワロイネットホテル 77.3	⇒ コンフォートホテル 76.6

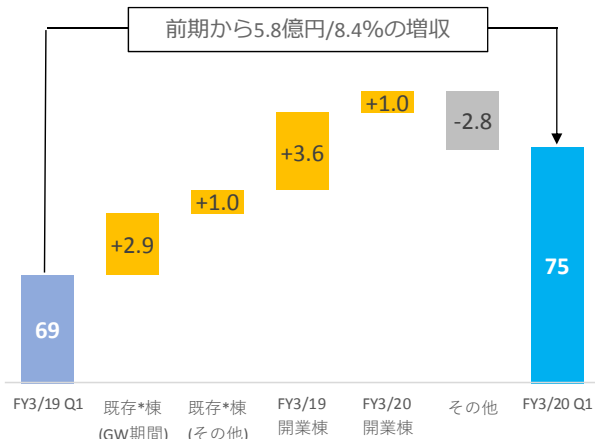


「JCSI(日本顧客満足度指数)」とは
サービス産業に開かれた顧客満足度指数の調査
公益財団法人 日本生産性本部が年6回実施しており、約30種類の業種、約400の企業が対象

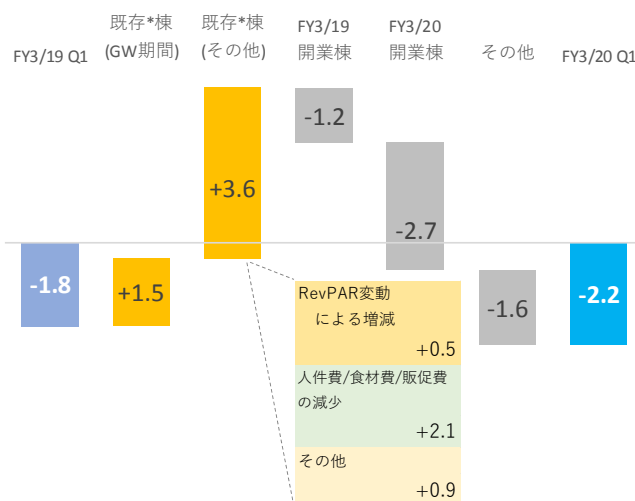
リゾート事業: 2020年3月期 第1四半期 売上高・営業利益

(単位: 億円)

売上高

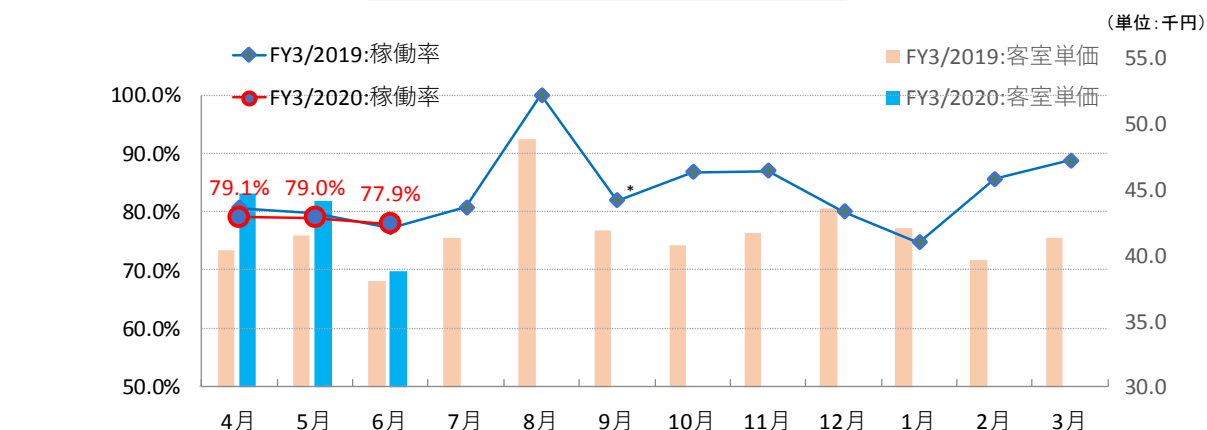


営業利益



リゾート事業: 稼働率・平均客室単価

稼働率/平均客室単価の月別推移



稼働率

	Q1	Q2	Q3	Q4	年間
FY3/19(実績)	79.2%	87.6%	84.6%	83.0%	83.6%
FY3/20(見通し)	79.3%	88.9%	84.7%	83.1%	83.9%
FY3/20(実績)	78.7%				
対前期	-0.5pp				
対見通し	-0.6pp				

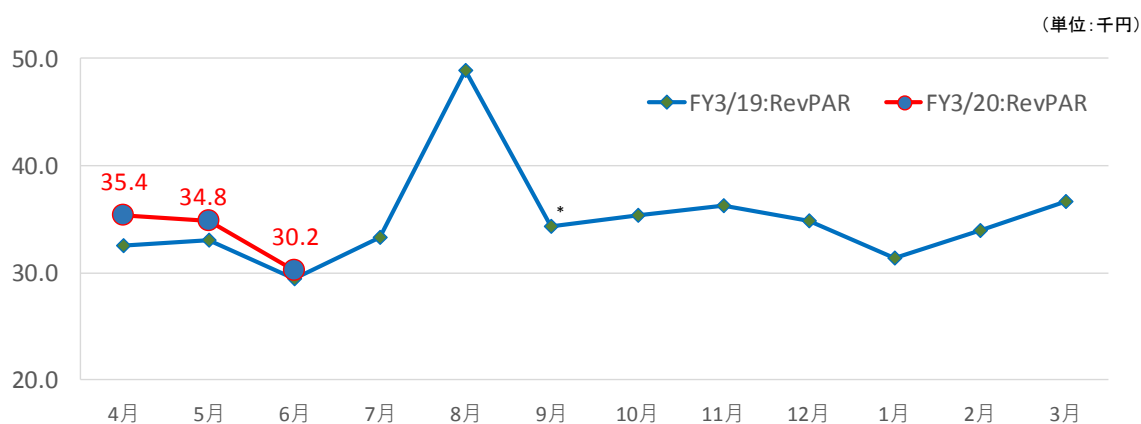
客室単価

	Q1	Q2	Q3	Q4	年間
FY3/19(実績)	40.0千円	44.4千円	42.0千円	41.0千円	41.9千円
FY3/20(見通し)	42.4千円	46.7千円	43.6千円	41.9千円	43.7千円
FY3/20(実績)	42.7千円				
対前期	+2.7千円				
対見通し	+0.3千円				

* 2018年9月の稼働率が前月から大きく落ち込んでいるのは、同月に北海道地震、台風21号等の自然災害が発生したことによる
(注) 上表は2018年4月以降に開業したホテル除きベースで表示している(上表に示した2期を同一条件下で比較できるようにするため)

リゾート事業: RevPAR推移

RevPARの月別推移



RevPAR

	Q1	Q2	Q3	Q4	年間
FY3/19(実績)	31.7千円	38.9千円	35.5千円	34.0千円	35.1千円
FY3/20(実績)	33.6千円				
対前期	+1.9千円				

	Q1	Q2	Q3	Q4	年間
FY3/20(見通し)	33.6千円	41.5千円	36.9千円	34.8千円	36.7千円
FY3/20(実績)	33.6千円				
対見通し	+0.0千円				

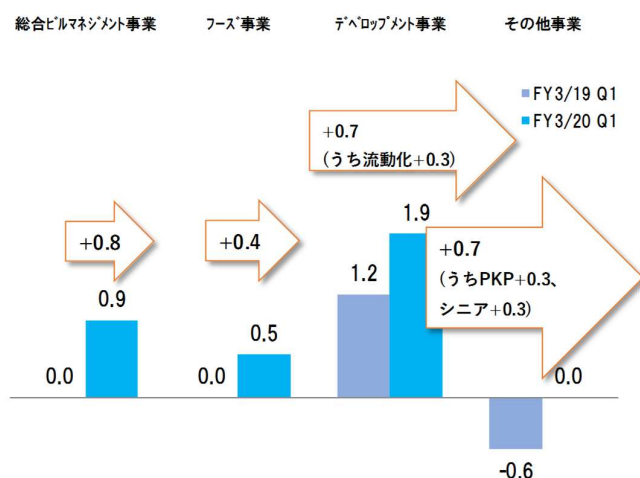
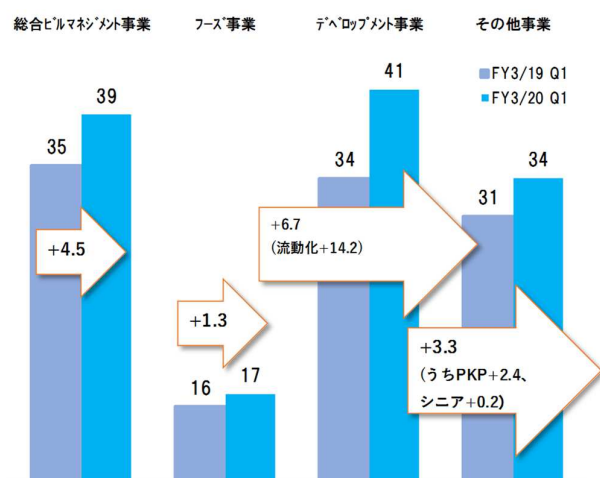
* 2018年9月のRevPARが前月から大きく落ち込んでいるのは、同月に北海道地震、台風21号等の自然災害が発生したことによる
(注) 上表は2018年4月以降に開業したホテル除きベースで表示している(上表に示した2期を同一条件下で比較できるようにするため)

その他事業: 2020年3月期 第1四半期 売上高・営業利益

(単位: 億円)

売上高: 対前期 +13.7%

営業利益: 対前期 +413.8%



2020年3月期 連結業績見通し

2020年3月期連結業績見通しと主要経営指標

(単位: 億円)

	FY3/19 実績	FY3/20 業績見通し	対 FY3/19	
売上高	1,628.1	1,830.0	+201.8	+12.4%
営業利益	145.6	157.0*	+11.3	+7.8%
経常利益	143.2	154.0	+10.7	+7.5%
当期純利益	95.6	102.0	+6.3	+6.6%
EPS (円)	245.4	261.6	+16.1	+6.6%

設備投資額	174.8	153.4	-21.4	-12.3%
減価償却費	47.5	50.0	+2.4	+5.0%
キャッシュ・フロー	143.2	152.0	+8.7	+6.1%
1株当たり配当金(円)	45	47	+2.0	+4.4%
配当性向	18.3%	18.0%	-0.4pp	-

※キャッシュ・フロー：当期純利益＋減価償却費

2020年3月期業績見通し策定にあたっての
主要指標にかかる前提条件

寮事業

- 期初稼働率: 98.7%、対前期 +1.0pp
- 期初契約室数: 40,089室、対前期 +4.5%

ドリーミン事業

- 開業ホテル数および室数
 - ・ Hotels 8棟/ 1,842室 (+13.9%)
- RevPAR: 10.3千円、対前期 +3.0%

リゾート事業

- 開業ホテル数および室数
 - ・ Hotels 3棟/ 241室 (+9.2%)
- RevPAR: 36.7千円、対前期 +4.8%

- 2020年3月期の営業利益見通しには、対前期で、開業費 +4.5億円に加え、顧客満足度向上に資するものとして大規模リニューアルに伴う費用等 +8.0億円、システム改修費 +2.0億円、合計+14.5億円の損影響を織り込んでいる。

実質ベースの売上高・営業利益 対前期成長率

(単位:億円)

FY3/19実績

FY3/20業績見通し

対前期

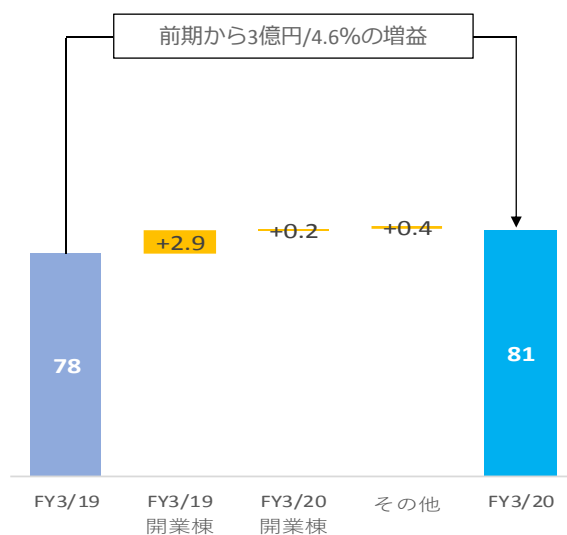
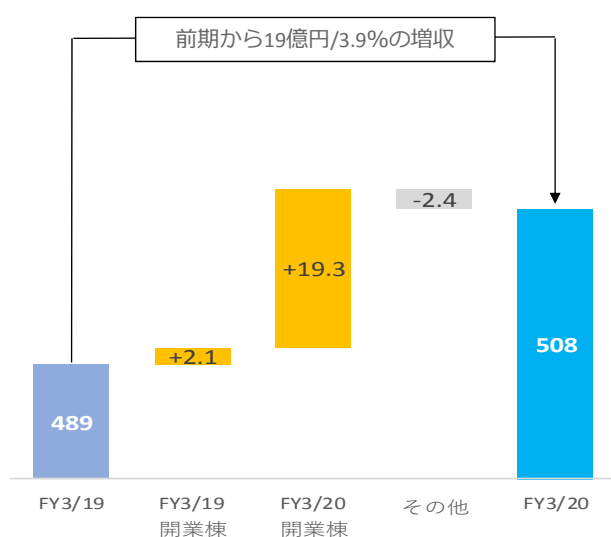
売上高	1,628.1	1,830.0	+201.8	+12.4%
-) 不動産流動化	-82.0	-106.9	-24.8	
売上高 (不動産流動化除く)	1,546.0	1,723.0	+176.9	+11.4%
営業利益	145.6	157.0	+11.3	+7.8%
+) 開業費	+18.6	+23.1	+4.5	+24.1%
+) 大規模リニューアルに伴う費用等	+2.9	+10.9	+8.0	+274.1%
+) システム改修費	-	+2.0	+2.0	-
特殊要因 計	+21.6	+36.1	+14.5	+67.1%
営業利益 (特殊要因除く)	167.2	193.1	+25.8	+15.4%
-) 不動産流動化	-12.0	-13.0	-0.9	
営業利益 (特殊要因・不動産流動化除く実質ベース)	155.2	180.1	+24.8	+16.0%

業績見通し 寮事業: 売上高・営業利益

(単位:億円)

売上高

営業利益

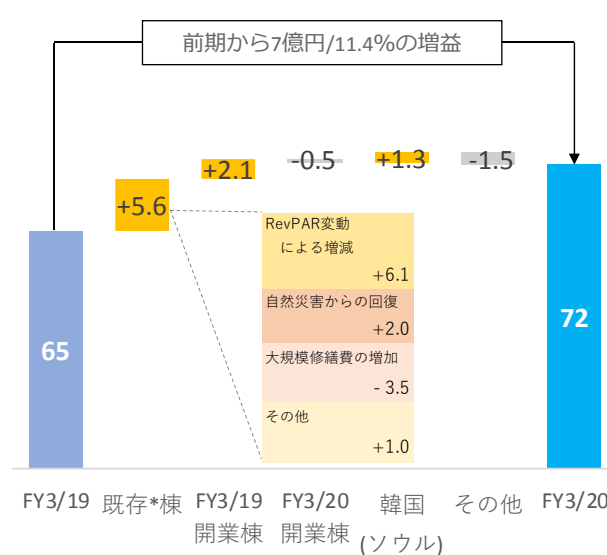
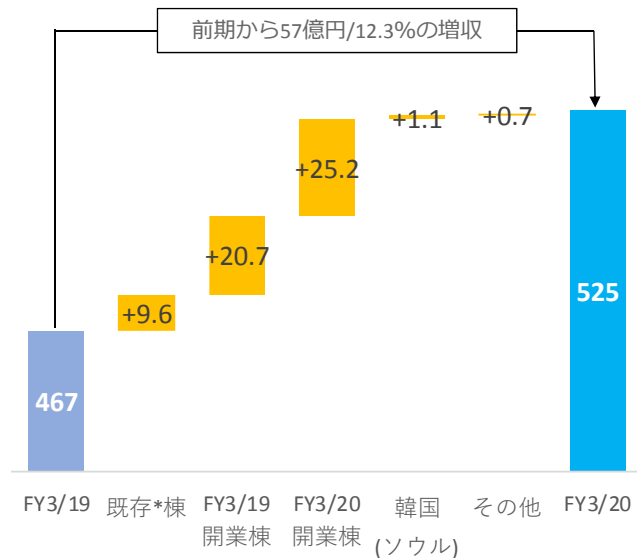


業績見通し ドーミーイン事業: 売上高・営業利益

(単位: 億円)

売上高

営業利益

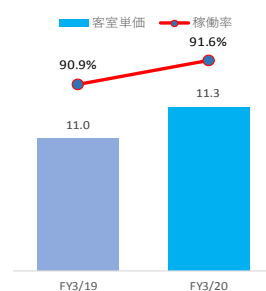
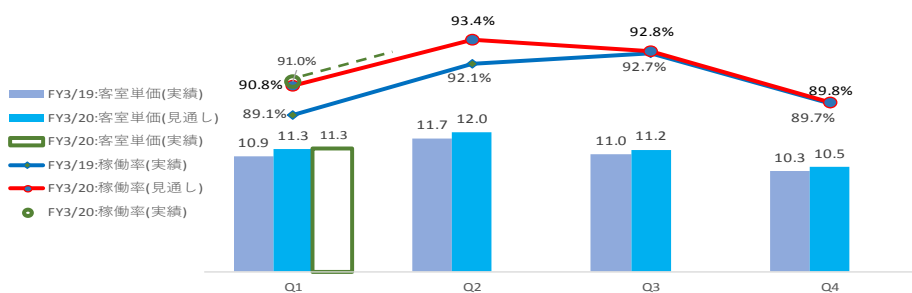


* 2018年3月末時点

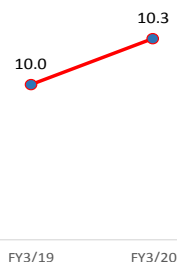
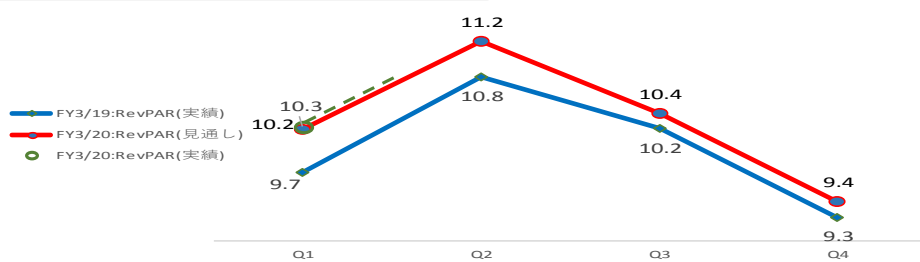
業績見通し ドーミーイン事業: 稼働率・平均客室単価・RevPAR推移

(単位: 千円)

稼働率および平均客室単価の2020年3月期見通し
(四半期別/対前期)



RevPARの2020年3月期見通し
(四半期別/対前期)

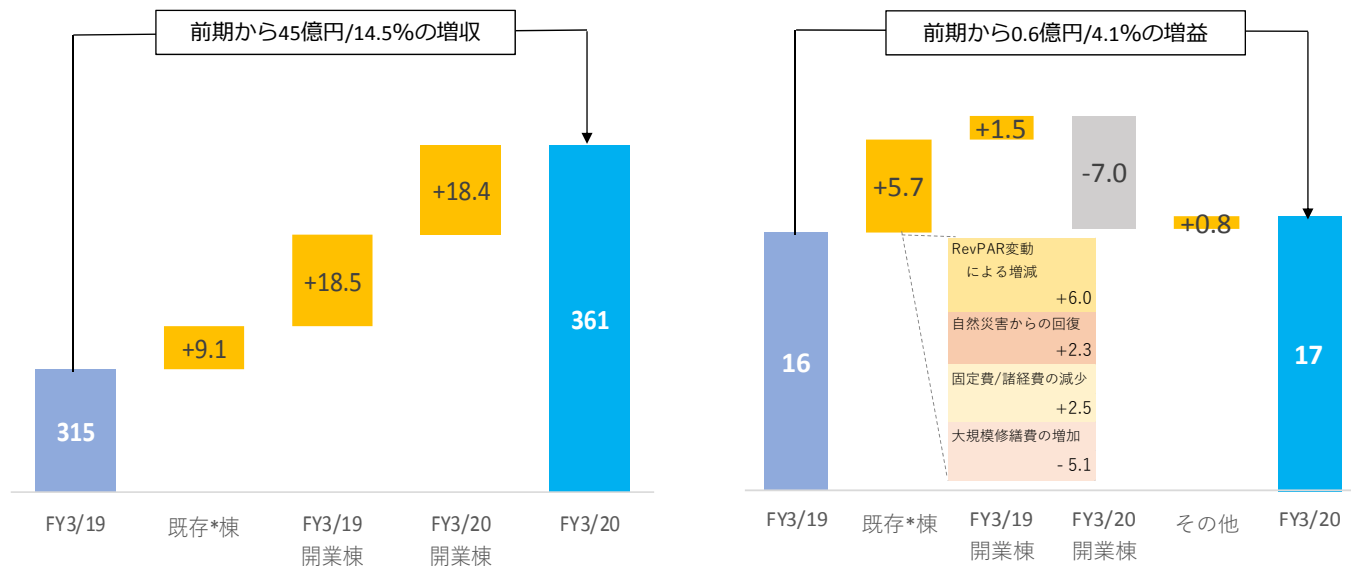


業績見通し リゾート事業: 売上高・営業利益

(単位: 億円)

売上高

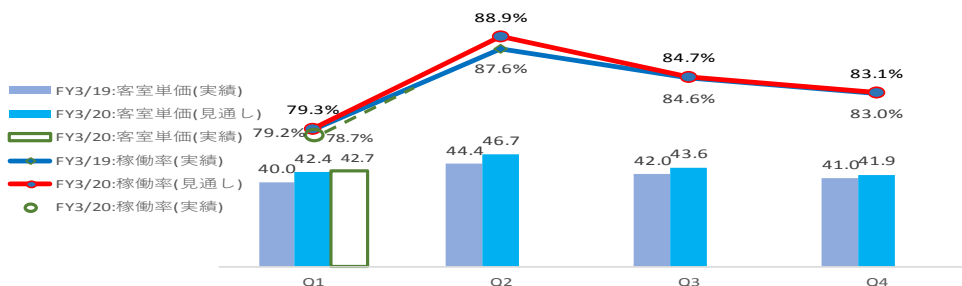
営業利益



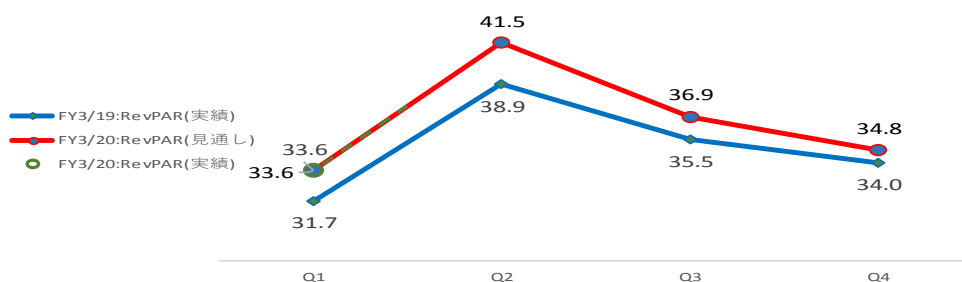
業績見通し リゾート事業: 稼働率・平均客室単価・RevPAR推移

(単位: 千円)

稼働率および平均客室単価の2020年3月期見通し (四半期別/対前期)



RevPARの2020年3月期見通し (四半期別/対前期)

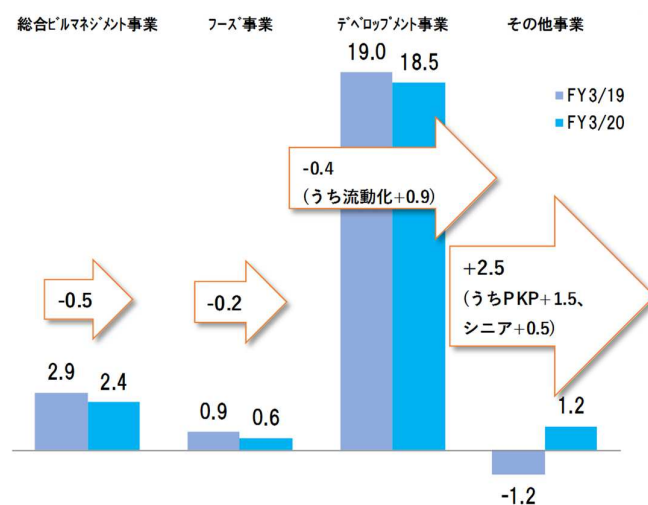
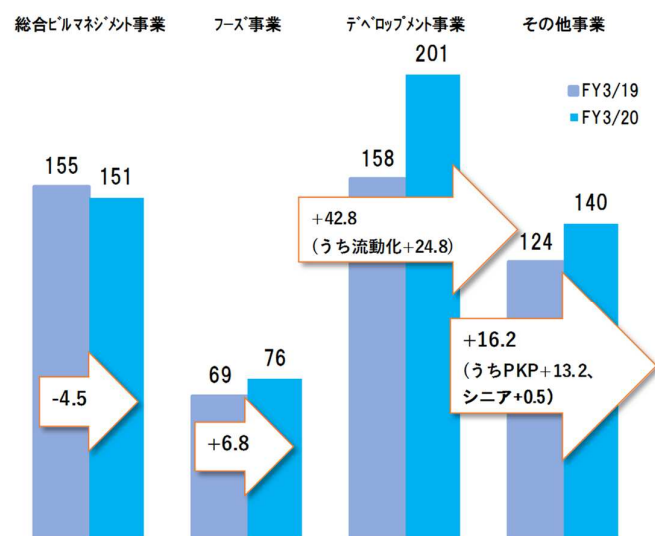


業績見通し その他事業: 売上高・営業利益

(単位: 億円)

売上高: 対前期 +12.1%

営業利益: 対前期 +6.2%



中期経営計画（2018年3月期～2022年3月期）の進捗状況

中計の主な定量目標と進捗状況

本中期計画名称

Kyoritsu Jump Up Plan

基本方針

1. 顧客満足度の向上

- 顧客満足度向上に繋がる商品・サービスを創造し、お客様からの当社への評価を高め、さらなる信頼を得る。

2. 開発の先行的実施

- 事業拠点を拡大し、盤石な基盤を構築する

主な定量目標

主な定量目標	中期経営計画の起点となる FY3/17実績	FY3/19時点の進捗状況	中期経営計画最終年度となる FY3/22実績
売上高	1,358億円	1,628億円(CAGR: +10%)	2,200億円(CAGR: +10%)
営業利益	118億円	146億円(CAGR: +11%)	190億円(CAGR: +10%)
Net D/E Ratio	0.9倍	0.8倍	財務健全性の目途となる1.0倍以下
配当性向	16.8%	18.3% - 予想	20%超とするべく、漸次水準切り上げ
ROE	11.7%	12.6%	10%以上

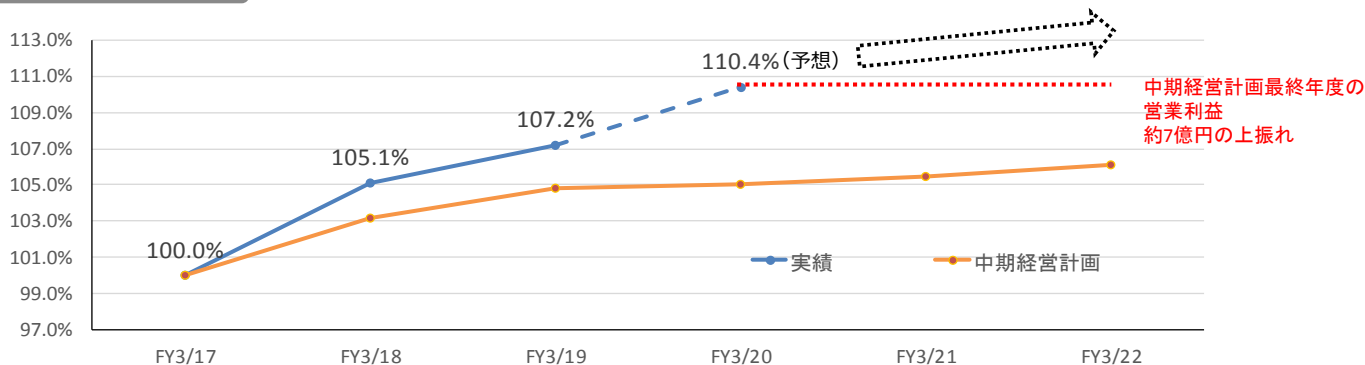
開発計画	中期経営計画の起点となる FY3/17実績	FY3/20 Q1時点の進捗状況 (FY3/18-FY3/20 Q1累計)	中期経営計画最終年度となる FY3/22末
寮	37,000室	- 開業ベース: 4,194室 - 機関決定済案件: 約5,100室 (進捗率: 73%)	7,000室
ドームイン	9,800室	- 開業ベース: 3,483室 - 機関決定済案件: 約9,000室 (進捗率: 100%)	9,000室
リゾート	2,200室	- 開業ベース: 510室 - 機関決定済案件: 約1,300室 (進捗率: 93%)	1,400室

KYORITSU

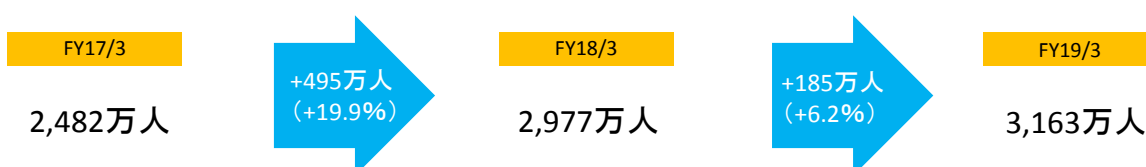
26

ドームイン事業のRevPARが当初想定以上の伸び

RevPAR



訪日外国人客数



KYORITSU

27

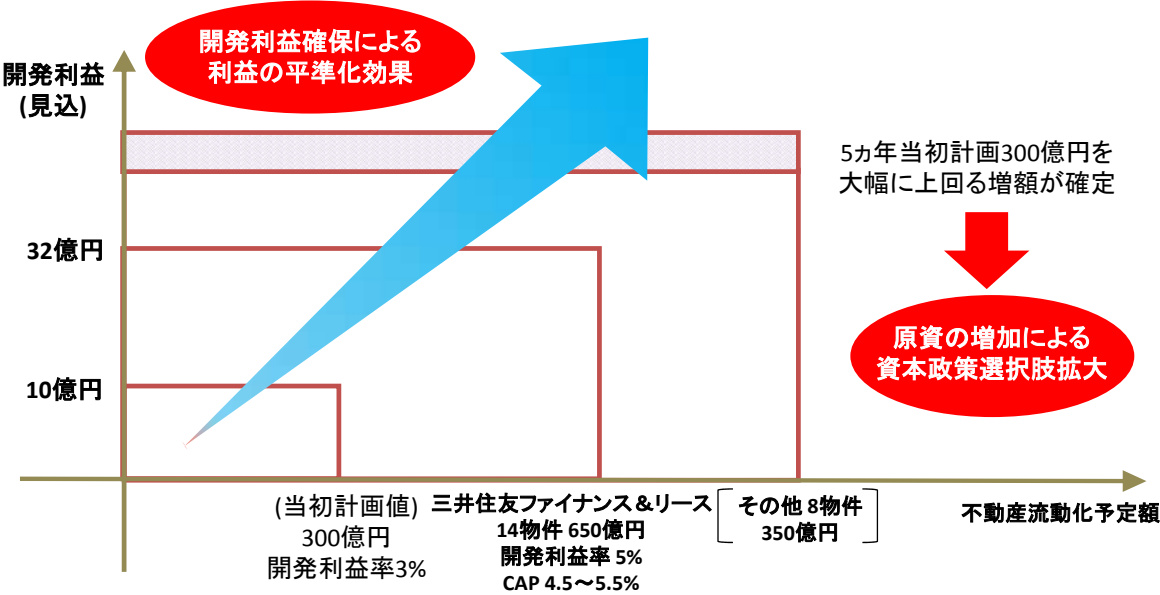
持続的成長の実現に向けた寮・ホテルの開発計画

開発計画

	FY3/18 実績		FY3/19 実績		FY3/20 計画		FY3/21 計画		FY3/22 計画	
寮・ドミール	+10棟*	+963室*	+15棟*	+1,852室*	+14棟*	+1,506室*	+6棟*	+474室*	+4棟	+401室
FY3/17末: 463棟/37,000室	期末稼働棟数	473棟	期末稼働棟数	485棟	期末稼働棟数	494棟	期末稼働棟数	498棟	期末稼働棟数	502棟
	リース比率	88.5%	リース比率	88.5%	リース比率	87.4%	リース比率	87.5%	リース比率	87.4%
中計計画7,000室	期末稼働室数	38,166室	期末稼働室数	39,450室	期末稼働室数	40,666室	期末稼働室数	41,042室	期末稼働室数	41,443室
一機関連定済案件 約5,100室 進捗率 73%	野田ANNEX、[L]千住仲町、 [L]網島駅前、東大坂 [L]舞浜、[L]南越谷、 [L]いりなかII、 [L]香榭園 他		[L]早稲田、[L]曳舟、 [L]慶應綱島、[L]鶴ヶ島、 おもろまち、[L]海浜幕張、 [L]所沢、[L]博多駅南II、 [L]小倉駅前 他		[L]仙台東口V、[L]本山、 [L]神戸、[L]大阪天満宮、 [L]鹿児島、[L]市ヶ谷、 明大グローバルヴィレッジ、 [L]駒込、[L]世田谷等々力 他		[L]札幌北、[L]札幌駅東、 [L]日暮里、[L]仙台東口、 [L]名古屋日進、[L]浜田山		[L]坂戸II、新潟II、 [L]京都くいな橋、[L]平尾駅前	
ドミニー	+9棟	+1,571室	+9棟*	+1,530室*	+8棟	+1,842室	+11棟	+2,437室	+8棟	+1,647室
FY3/17末: 64棟/10,200室	期末稼働棟数	72棟	期末稼働棟数	80棟	期末稼働棟数	88棟	期末稼働棟数	99棟	期末稼働棟数	107棟
	リース比率	98.8%	リース比率	98.9%	リース比率	99.1%	リース比率	99.2%	リース比率	99.3%
中計計画9,000室	期末稼働室数	11,811室	期末稼働室数	13,248室	期末稼働室数	15,090室	期末稼働室数	17,527室	期末稼働室数	19,174室
一機関連定済案件 約9,000室 進捗率 100%	[L]PREMIUM神田、 [L]宮崎、 [L]global cabin 水道橋、 [L]甲府丸の内、[L]出雲、 [L]EXPRESS仙台シャザレ、 [L]野乃奈良、[L]高知、[L]松山		[L]本八戸、[L]大阪谷町、 [L]後楽園、[L]大分、 [L]global cabin 浜松、 [L]global cabin 横浜中華街、 [L]高松中央公園前、 [L]PREMIUMなんばANNEX、 [L]PREMIUM大阪北浜		[L]前橋、[L]福井、 [L]盛岡、[L]野乃浅草、 [L]川崎、[L]富良野、 [L]水戸、[L]野乃金沢		[L]野乃京都七条、[L]神戸、 [L]PREMIUM銀座、 [L]池袋、[L]長崎駅前、 [L]豊橋、[L]野乃浅草別邸、 [L]御殿場、 [L]野乃松江、[L]横浜、[L]福山		[L]野乃松本、 [L]野乃仙台、 [L]東京ベイ(豊洲)、 [L]広島ANNEX、 [L]野乃淀屋橋、 [L]岡山、 [L]野乃熊本、[L]江の島	
リゾート	+4棟	+253室	+2棟	+171室	+3棟	+241室	+6棟	+486室	+3棟	+197室
FY3/17末: 24棟/2,200室	期末稼働棟数	29棟	期末稼働棟数	31棟	期末稼働棟数	34棟	期末稼働棟数	40棟	期末稼働棟数	43棟
	リース比率	58.7%	リース比率	60.2%	リース比率	61.7%	リース比率	60.4%	リース比率	67.1%
中計計画1,400室	期末稼働室数	2,478室	期末稼働室数	2,649室	期末稼働室数	2,890室	期末稼働室数	3,376室	期末稼働室数	3,573室
一機関連定済案件 約1,300室 進捗率 93%	住雲(出雲)、 月夜のうさぎ(出雲)、 [L]Le Chien 旧軽井沢、 [L]翠雲(造賀)		[L]La Vista 露島(鹿児島)、 [L]白川郷(岐阜)		[L]越後湯沢(新潟)、 [L]琴平(香川)、 稲佐(秋田)		[L]La Vista草津(群馬)、 [L]那須塩原蓮月(栃木)、 [L]和倉温泉(石川)、 菊屋別邸水月(静岡) 他		[L]河津温泉(静岡)、 [L]仁和寺(京都)、 [L]La Vista図書館ベイANNEX	
リース比率 (全社)	89.4%		89.7%		89.1%		89.3%		89.8%	

* 開発案件の棟数・室数の増加数を示している(期末稼働棟数・室数の前期末からの増加数を表しているものではない)
(注) 赤字はインバウンド比率が当社平均を上回る開発案件、[L]はリース案件、アンダーラインは今後予定しているものを含む流動化案件

不動産流動化の実績と今後の見通し



	物件数	売上高 (億円)	開発利益 (億円)
2018年3月期 実績	1	15.9	2.8
2019年3月期 実績	3	82.0	12.0
2020年3月期 計画	4	106.9	13.0
2021年3月期以降の見込	12	311.4	27.4

(注) 開発利益率は当初見込み。契約時期・物件毎に変動します。

安定的な人員・人材確保

2019年4月

2020年4月

2021年4月

新卒採用数

296名(実績)

300名(予定)

300～320名(予定)

総合職：31名
ホテル：260名
シニア：5名

総合職：22名
ホテル：270名
シニア：8名

総合職：20名
ホテル：290名
シニア：10名

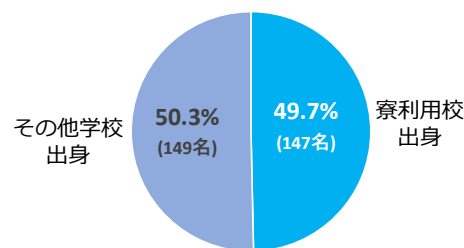
内留学生：57名
(ベトナム、中国、韓国など)

外国籍の採用人数に制限はなく、
優秀な人材なら積極的に採用

採用ルート

寮事業で培った学校様との良好な関係を活用し、
学校様より、ご紹介を頂けている

新卒採用者 出身校内訳



企業認知度向上の施策

■ 「箱根駅伝」「出雲駅伝」中継番組での企業TVCM

■ TBSラジオ 番組提供 企業ラジオCM

■ 共立リゾート「ラビスタ」TVCM 北海道エリア 九州エリア

■ 共立リゾート PR動画放映

■ 日本女子サッカーリーグ2019年オフィシャルスポンサー

「強く元気な女性」が輝く、なでしこリーグとのオフィシャル スポンサー契約をいたしました。
なでしこリーグで懸命にプレーする選手たちから、夢や感動をひとりでも多くの方々に伝える 普及活動をサポートしていきます。



なでしこLEAGUE™

■ 各種IRイベント参加等

- 国内個人投資家向けIR・・・個人・機関投資家説明会の開催、IRフェアへの参加、投資家様とのミーティングなど
- 海外機関投資家向けIR・・・海外IRロードショー、カンファレンスへの参加（19年3月期実績 年間5回）

お客様満足度向上の施策

■ 総合顧客ネットワークの構築・強化

- お客様への最適なおもてなしの提供に資するカスタマーデータの活用
 - ✓ お客様に当社をご利用いただく際に、カスタマーデータを事前に保持していることで、より適切な接遇が可能に
 - ✓ お客様のご利用履歴データをマーケティングにも有効活用するとともに、カスタマーデータの保全・管理を徹底
- お客様に当社をよりご理解いただき、末永くご利用いただくためのメンバーシッププログラムの設計
 - ✓ 日ごろお世話になっている得意先様や何度もお利用して頂いているお客様に、当社事業・サービスをよりご理解いただき、ご家族でご利用いただく特典やサービスを設計
- 自社予約チャネルのご利用を通じて、メリットをご享受いただけるポイントプログラムの企画スタート
ホテル予約サイト会員数 2018年3月末 55万人→2019年6月 70万人(+29.2%)
 - ✓ 貯まりやすく使いやすい共通ポイントプログラム(※)とのタイアップ
※NTT DOCOMO社「dポイント」と2018年11月より提携。2019年4月より同ポイント利用サービスもスタート。

■ 寮入居者さま向けアプリ“Domico”の開発 (今年度より徐々に導入棟を拡大)

- スマホで簡単に喫食申し込み・同キャンセル連絡を当日受付
- スマホで外泊届の提出も可能に



重要な注意事項

本注意事項において、「プレゼンテーション (presentation)」とは、本プレゼンテーションにおいて株式会社 共立メンテナンス (以下、「共立」) によって説明または配布された本書類、口頭のプレゼンテーション、質疑応答および書面または口頭の資料を意味します。本プレゼンテーション (それに関する口頭の説明および質疑応答を含みます) は、いかなる法域においても、いかなる有価証券の購入、取得、申し込み、交換、売却その他の処分の提案、案内もしくは勧誘またはいかなる投票もしくは承認の勧誘のいずれの一部を構成、表明または形成するものではありません。

共立が直接的に、または間接的に投資している会社は別々の会社になります。本プレゼンテーションにおいて、「共立」という用語は、共立およびその子会社全般を参照するものとして便宜上使用されていることがあります。同様に、「当社 (we, us および our)」という用語は、子会社全般またはそこで勤務する者を参照していることもあり得ます。これらの用語は、特定の会社を明らかにすることが有益な目的を与えない場合に用いられることもあり得ます。

将来に関する見通し情報

本プレゼンテーションおよび本プレゼンテーションに関して配布された資料には、共立の見積もり、予測、目標および計画を含む当社の将来の事業、将来のポジションおよび業績に関する将来見通し情報、理念または見解が含まれています。将来見通し情報は、「目標にする (targets)」、「計画する (plans)」、「信じる (believes)」、「望む (hopes)」、「継続する (continues)」、「期待する (expects)」、「目指す (aims)」、「意図する (intends)」、「だろう (will)」、「かもしれない (may)」、「すべきであろう (should)」、「であろう (would)」、「することができた (could)」、「予想される (anticipations)」、「見込む (estimates)」、「予想する (projects)」などの用語または同様の用語もしくはその否定表現を含むことが多いですが、それに限られるものではありません。この書類における将来見通し情報は、現在当社が入手可能な情報に鑑みて行った当社の現在の前提および理念に基づくものです。かかる将来見通し情報は、当社または当社の役員による、将来の業績に関する保証を表すものではなく、既知および未知のリスクとその不確実性、その他の要素を伴います。リスクと不確実性には、日本および世界中の一般的な経済条件を含む当社の事業を取り巻く経済状況、競合品の出現・開発、規制当局による判断とその時期、自然災害などが含まれますが、これらに限られません。これらにより、当社の実際の業績、経営結果、財務内容は、将来見通し情報において、明示または暗示された将来の業績、経営結果、財務内容とは、大きく異なる可能性があります。当社または当社の役員は、この将来見通し情報において示された予想が結果的に正しいということは何ら保証するものではなく、実際の業績または経営結果は予想と大きく異なることがあります。本プレゼンテーションの受領者は、将来見通し情報に過度に依存するべきではありません。共立は本プレゼンテーションに含まれる、または当社が提示するいかなる将来見通し情報について、これを更新する義務を負うものではありません。過去の実績は将来の経営結果の指針とはならず、また本プレゼンテーションにおける共立の経営結果は当社の将来の経営結果を示すものではなく、またその予測、予想または見積もりではありません。

中期経営計画（2018年3月期-2022年3月期）に掲げた重点施策を
さらに加速的に推進し、業績のさらなる向上に努めてまいります

Thank you!

